

地域福祉計画改訂のための調査計画（案）

20070720

1. 調査の目的

- ・ 市民の意識と実態についてアンケート調査を行い、地域、活動、情報などの観点から福祉サービスに対するニーズと活動意向を調査し、地域福祉計画の施策並びに福祉のまちづくりの事業の検討資料とする。
- ・ 日常の行動範囲やまちの評価についての設問を設け、すべての人にとって快適なユニバーサルデザインのまちづくりに向けた方策を検討する。

2. 調査概要

<一般市民アンケート調査>

対象者:府中市内に居住する20歳以上の市民 3,000人

サンプリング:住民基本台帳より無作為抽出(平成19年9月時点)

調査方法:郵送法(督促礼状1回送付)

3. 分析の視点

- ・ 時系列比較により、市民の意識変化を探る
- ・ 全国、都の調査結果との比較により、府中市の地域特性を明らかにする
- ・ 他分野の調査結果を活用し、多様な市民の声を集める
- ・ 一般市民への調査結果から、地域福祉の担い手としてのポテンシャルと資源を把握する

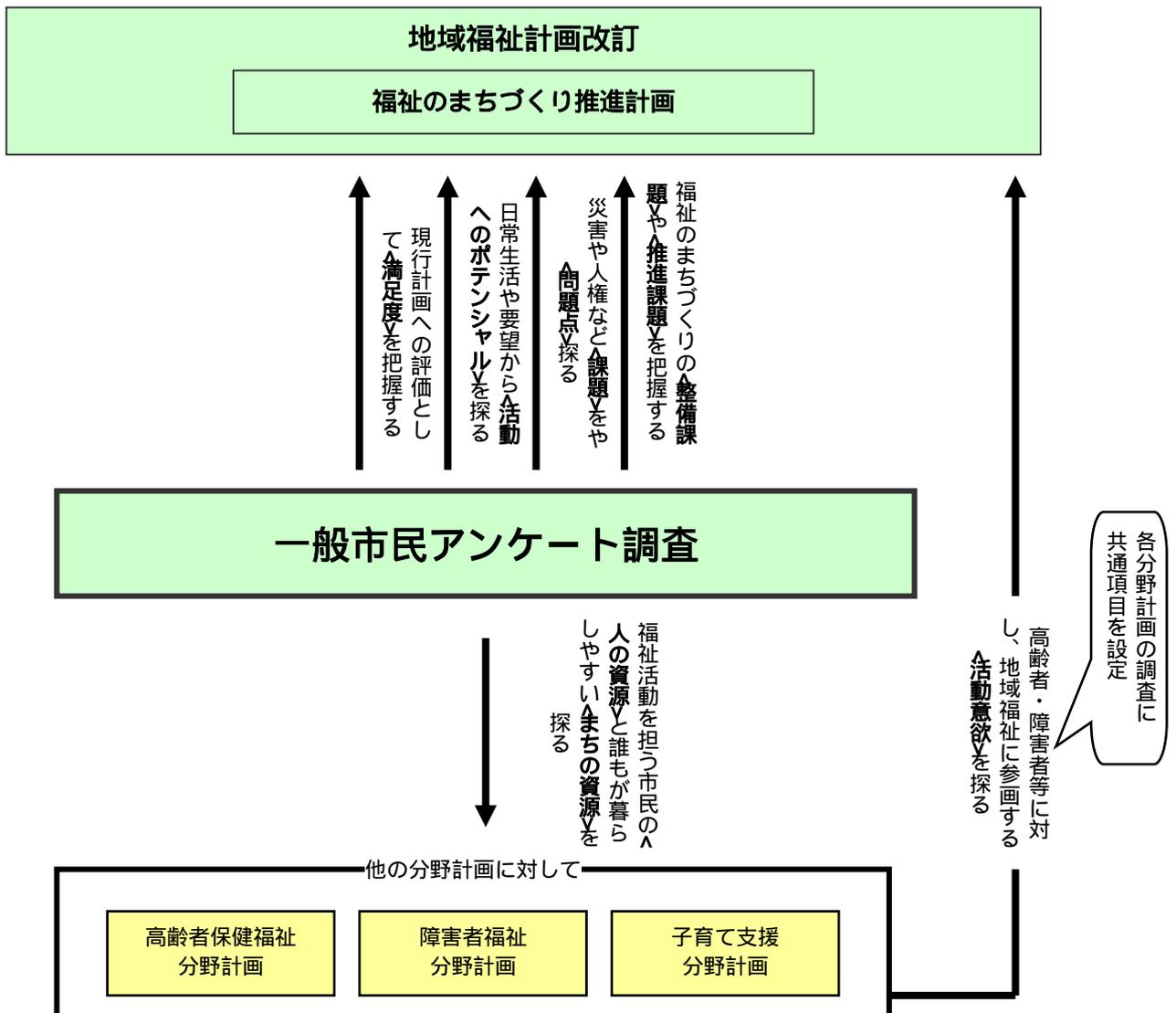
4. 調査の構成

地域福祉計画改訂にあたり、<一般市民アンケート調査>を提案する。このほか、他の分野別計画改訂作業と連携を図り、地域福祉に関する質問を盛り込み、また、地域福祉に関する調査の結果を他分野計画の検討にも用いる。

地域福祉計画改訂にあたり、広く市民を対象とするアンケート調査によって、現状や評価、問題点を明らかにする。

高齢者や障害者、子育て家庭を対象とした他分野計画のアンケート調査には、活動意欲に対する共通設問を設け、地域福祉の担い手としての高齢者、障害者、子育て家庭の役割を把握する。

また、一般市民アンケートの調査結果は、他分野の福祉活動の担い手としてのポテンシャルの把握、方向性の検討、各分野で生かされる福祉の<まちづくり>のあり方について、市の資源となる人や福祉のまちづくりの整備状況や今後の課題の検討に用いる。



5. 調査項目(案)

設問数:37問(属性含む)

大項目	ねらい	設問(案)	前回	他地域
A 基本属性	分析の軸となる基本的属性をたずねる	F1 性別 / F2 年齢 / F3 職業 / F4 家族構成(同居家族と人数) / F5 介助・介護が必要な同居・近居・別居の家族 / F6 居住地 / F7 居住歴 / F8 住宅の種類・所有形態・居住階		
B 満足度	現状への評価として理想像と満足度を探る	Q1. 理想とする地域像 Q2. 地域の暮らしの満足度		
C 地域活動・ボランティア	地域活動やボランティア活動の現状と今後の意向、支援策を探る	Q3. 地域活動の経験(付問 参加している活動の種類) Q4. 今後参加したい活動 Q5. 子育て家庭・高齢者・障害者に行いたい手助け Q6. 社会活動を行う上で必要な環境・条件 Q7. 地域住民の協力関係の必要性 (付問 地域住民の協力関係を築くために必要なこと)		大都市 都
D 相談・情報	日常の悩みや不安から、相談対応や情報提供の今後のあり方を探る	Q8. 差別や人権侵害を感じたこと Q9. 日常生活の悩みや不安(災害時について不安に思うこと) Q10. 地域の相談相手 Q11. 相談事業の認知度 Q12. 福祉サービスの情報入手方法と今後の希望		都
E まちと心のバリアフリー	まちの整備などのハード面と、住民同士の付き合いや助け合いなどのソフト面の両面からバリアフリー化の現状と方向性を探る	Q13. 近所づきあいの現状(つきあいのない理由) Q14. 住民が助け合う「地域」と感じる範囲		
		Q15. バリアフリー環境整備の進展度(評価) Q16. 建築物・公共交通機関等・情報のバリアフリー化の状況		国・都 国・都
		Q17. 外出先での手助けの経験(しなかった理由) Q18. 心のバリアフリーを進めるために必要なこと		
F 福祉に対する考え方	地域福祉の諸問題について、認識や考え方を探る	Q19. 「福祉」に対する考え方 Q20. 福祉に関する言葉の認知度		国・都
G 施策の方向	市民が主体の地域福祉施策を展開するための参考とする	Q21. 介護保険サービスと保険料についての考え方 Q22. 福祉を充実するための住民参加の方法 Q23. 定年退職後の地域活動支援への要望 Q24. 介護予防への関心(*) Q25. 認知症予防への関心(*) Q26. 健康管理(介護予防)事業への参加希望(*) Q27. 介護予防推進センターの認知度(*) Q28. 市が優先的に取り組むべき地域福祉サービス Q29. 市への要望<自由意見>	高 高 高 高	

* Q24~27は40代以上への質問

* 前回との比較 : 前回と同じ設問・比較する設問、 : 他分野調査と比較する設問

* 他地域との比較

国: バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進普及方策に関する調査研究(内閣府/H17)

大都市: 大都市圏におけるコミュニティの再生・創出に関する調査(国土交通省/H17)

都: 東京都社会福祉基礎調査「福祉のまちづくりに関する都民の意識」(東京都/H16)、東京都福祉保健基礎調査「都民の生活実態と意識」(東京都/H18)

府中市福祉計画（地域福祉）調査

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成 21 年度に策定を予定しております「府中市福祉計画」の基礎資料として、福祉全般の調査を実施します。

この調査は、府中市にお住まいの 20 歳以上の方 3,000 名を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 19 年 10 月 府中市

記入についてのお願い

1. **封筒のあて名ご本人**について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を 印で囲んでください。
4. の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に 印をつけられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。
6. お答えにくい質問については無理にお答えいただかなくてもかまいません。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

月 日までにご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

問合せ先

府中市福祉保健部地域福祉推進課福祉計画担当

TEL 042 - 335 - 4182

F 5 現在、あなた自身、もしくはあなたのいる家族の中に、次のような方はいますか。
(いくつでも)

(1) ご自身もしくは同居、市内にお住まいの家族

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 . 乳児 (1 歳未満) | 5 . 65 歳以上の方 |
| 2 . 乳児を除く小学校入学前の幼児 | 6 . 身体・知的・精神などの障害のある方 |
| 3 . 小学生 | 7 . 介護・介助を必要とする方 |
| 4 . 中学生・高校生 | 8 . いずれもない |

(2) 別居 (市外にお住まい) の家族

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 . 乳児 (1 歳未満) | 5 . 65 歳以上の方 |
| 2 . 乳児を除く小学校入学前の幼児 | 6 . 身体・知的・精神などの障害のある方 |
| 3 . 小学生 | 7 . 介護・介助を必要とする方 |
| 4 . 中学生・高校生 | 8 . いずれもない |

F 6 あなたはどちらの地区にお住まいですか。 内にご記入ください。

町

丁目

F 7 あなたは府中市にお住まいになってから何年になりますか。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 . 1 年未満 | 5 . 1 0 年以上 2 0 年未満 |
| 2 . 1 年以上 3 年未満 | 6 . 2 0 年以上 3 0 年未満 |
| 3 . 3 年以上 5 年未満 | 7 . 3 0 年以上 |
| 4 . 5 年以上 1 0 年未満 | |

F 8 あなたのお住まいについて、次の (ア) ~ (ウ) についておたずねします。

(ア) お住まいの所有は次のうちどれですか。(1 つに)

- | | |
|---------|--------|
| 1 . 持ち家 | 2 . 借家 |
|---------|--------|

(イ) お住まいの形態は次のうちどれですか。(1 つに)

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1 . 集合住宅 (エレベーターなし) | |
| 2 . 集合住宅 (エレベーターあり) | |
| 3 . 戸建て住宅・ 2 階建てタウンハウス | |
| 4 . その他〔具体的に : <input type="text"/> 〕 | |

(ウ) 「 1 . 集合住宅 (エレベーターなし) 」 と答えた方にお聞きします。

お住まいは何階ですか。(1 つに)

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1 . 1 階 | 3 . 3 階 | 5 . 5 階以上 |
| 2 . 2 階 | 4 . 4 階 | |

府中市の福祉についての満足度をおたずねします

問1 あなたにとって、理想とする地域像はどのようなものですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(1つに)

1. 子どもがいきいきと育つまち
2. 高齢者が暮らしやすいまち
3. 障害のある方が暮らしやすいまち
4. 困ったときに隣近所で助け合えるまち
5. 福祉施設が整備されているまち
6. 市民の福祉活動が活発に行われているまち
7. 人権が尊重されるまち

問2 あなたが現在、お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じています。(1)～(10)のそれぞれの項目について、あてはまるものに をつけてください。(1つずつ)

	満足	どちらでもない	満足していない
(1) 隣近所などとの付き合い	1	2	3
(2) 自治会や町内会の活動	1	2	3
(3) 地域の助け合い	1	2	3
(4) サークルやボランティアの活動	1	2	3
(5) 地域の防災対策	1	2	3
(6) 保健福祉サービス	1	2	3
(7) 相談できる体制	1	2	3
(8) 買い物などの便利さ	1	2	3
(9) 道路や交通機関などの使いやすさ	1	2	3
(10) 公的な手続きの便利さ	1	2	3

問6 あなたは、お住まいの地域で活動する場合、どのような環境や条件が必要だと思いますか。(3つまで)

1. 身近な地域で活動できる
2. 夜間や休日または平日昼間など自分にあった時間帯に参加できる
3. 子どもの面倒や介護・介助の支援が得られる
4. 友人や家族と一緒に参加できる
5. 家族や職場の理解・協力が得られる
6. 自分の所属する学校や職場で活動が行われている
7. 身近な団体や活動内容に関する情報が手に入る
8. 活動資金の補助、援助がある
9. 活動に参加することでメリットが得られる(報酬など)
10. その他〔具体的に: _____〕
11. 条件によらず参加したくない

問7 あなたは、地域で安心して生活していくために、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか。(1つに)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 必要だと思う | 4. 必要だとは思わない |
| 2. ある程度必要だと思う | 5. わからない |
| 3. あまり必要だとは思わない | |

付問1 問7で「1」または「2」と答えた方におたずねします。住民の協力関係を築くためにはどのようなことが必要だと思いますか。(3つまで)

1. 自ら進んで日頃から住民相互のつながりをもつように心がけること
2. 自治会や町内会が中心となって交流活動を進めること
3. ボランティア団体やNPO(民間非営利組織)の活動を活発にすること
4. 地域の人が気軽に集まる場所や地域活動の拠点となる場を作ること
5. 地域の企業や団体などに地域活動への参加を呼びかけること
6. 地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること
7. 地域活動を担う、リーダーとなる人材を育成すること
8. 行政や社会福祉協議会が地域活動への支援やコーディネートをすること
9. その他〔具体的に: _____〕
10. わからない

日頃のお悩みと相談についておたずねします

問8 ふだんの暮らしの中で、高齢者や障害のある方、子どもや子ども連れ、外国人等への差別や偏見、人権侵害を感じたことがありますか。(1つに)

1. あると感じている
2. 感じたことはないが、あると思う
3. とくに感じることはない

問9 あなた、あるいはご家族は現在、日常生活においてどのような悩みや不安を感じていますか。(2つまで)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 自分や家族の健康のこと | 8. 住宅のこと |
| 2. 自分や家族の老後のこと | 9. 地域の治安のこと |
| 3. 生きがいに関すること | 10. 災害時の備えに関すること |
| 4. 子育てに関すること | 11. 人権に関すること |
| 5. 介護の問題 | 12. その他 |
| 6. 経済的な問題 | [具体的に:] |
| 7. 隣近所との関係 | 13. とくにない |

付問1 災害時を想定した場合、あなたご自身やご家族について、どのような点に不安を感じますか。(3つまで)

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 所在、安否の確認 | 6. 生活物資、乳幼児・高齢者等向けの物資 |
| 2. 救助、避難誘導 | 7. 医療機関、診療、薬の入手 |
| 3. 避難経路、避難方法 | 8. 精神的なストレス |
| 4. 避難生活 | 9. その他〔具体的に: 〕 |
| 5. 正確な情報の入手 | |

問10 あなたやご家族が、介助・介護など福祉に関することや病気で困ったときに、地域で相談したり頼ったりできるところはありますか。(いくつでも)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 近隣住民・町内会の人 | 6. 保育所、幼稚園、学校の保護者や先生 |
| 2. 近所(市内在住)の親族 | 7. ケアマネージャーや福祉施設の関係者 |
| 3. 近所(市内在住)の友人 | 8. かかりつけ医や保健師など医療関係者 |
| 4. 民生委員・児童委員 | 9. その他〔具体的に: 〕 |
| 5. 行政の相談窓口 | 10. 相談できる相手がいない |

問11 市や都、社会福祉協議会には、福祉についての相談窓口が設置されています。次の相談事業についてご存知ですか。(いくつでも)

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 市役所の相談窓口 | 9. 子ども家庭支援センター「たっち」「しらとり」 |
| 2. 地区の民生委員・児童委員 | 10. スクエア21・女性センター |
| 3. 府中市オンブズパーソン制度 | 11. 社会福祉協議会(ふれあい福祉相談室) |
| 4. 地域包括支援センター | 12. 保健センター |
| 5. 在宅介護支援センター | 13. ボランティアセンター |
| 6. 権利擁護センターふちゅう | 14. 消費生活相談室 |
| 7. 地域生活支援センター | 15. 知っているものはない |
| 8. 児童相談所 | |

問12 保育や子育て支援、高齢者や障害のある方への福祉サービス、健康づくり、ボランティア活動など、市の地域福祉に関する情報についておたずねします。

(ア) 日頃の情報の入手先はどこですか。(3つまで)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 家族や親類 | 8. 民生委員・児童委員、ケアマネージャー、保育士など |
| 2. 近隣の人、友人、知人 | 9. NPO等の民間団体 |
| 3. 町内の回覧板 | 10. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等 |
| 4. 広報ふちゅうや市のパンフレット | 11. インターネット(市のホームページ以外) |
| 5. 市のホームページ | 12. その他〔具体的に: _____〕 |
| 6. 行政の相談窓口 ^{*1} | 13. 情報を得たことはない |
| 7. 社会福祉協議会 | |

(イ) 今後、希望する情報の入手先はどこですか。(3つまで)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 家族や親類 | 8. 民生委員・児童委員、ケアマネージャー、保育士など |
| 2. 近隣の人、友人、知人 | 9. NPO等の民間団体 |
| 3. 町内の回覧板 | 10. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等 |
| 4. 広報ふちゅうや市のパンフレット | 11. インターネット(市のホームページ以外) |
| 5. 市のホームページ | 12. その他〔具体的に: _____〕 |
| 6. 行政の相談窓口 ^{*1} | 13. 情報を必要としていない |
| 7. 社会福祉協議会 | |

*1 行政の相談窓口は、市役所、民生委員等の福祉関係者、認可保育所、医療センター、女性センター、児童相談所、保健所等の窓口を示します。

地域との関わりについておたずねします

問13 あなたは、隣近所の人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに)

1. 個人的なことを相談し合える人がいる
2. さしさわりのないことなら、話せる相手がいる
3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる
4. ほとんど近所づきあいをしない

付問1 問15で「3」または「4」と答えた方におたずねします。
主な理由をお答えください。(2つまで)

1. 仕事や家事・育児などで忙しく時間がないから
2. 引っ越してきて間もないから
3. 普段つきあう機会がないから
4. 同世代の人が近くにいないから
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから
6. あまりかかわりをもたたくないから
7. その他〔具体的に： _____ 〕

問14 あなたにとって、住民が互いに助け合うべき「地域」とはどのような範囲だと思いますか。次の中でもっとも近いものをお答えください。(1つに)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 隣近所 | 5. 中学校区 |
| 2. 自治会・町内会 | 6. 市全体 |
| 3. 小学校区 | 7. その他 |
| 4. 町 | 〔具体的に： _____ 〕 |

問15 府中市の都市環境（公園や道路など公共の場・公共施設、交通機関など）について、バリアフリー環境の整備はどの程度進んでいると思いますか。あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(1つに)

1. かなり進んでいる
2. ある程度の水準には達している
3. 十分にバリアフリー化されているとはいえない
4. ほとんど進んでいない
5. わからない

*バリアフリーの説明は次頁をご覧ください

問16 現在、府中市の建築物や公共交通機関、情報案内などについて、障害のある人や妊婦、子どもづれ、高齢者等が利用しやすいように整備されていると思いますか。
 (1)~(10)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつをつけてください。

		整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	整備されていない	整備の必要を感じない
建築物	(1) 車イスの方やだれもが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げる)	1	2	3	4	5
	(2) 公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター	1	2	3	4	5
	(3) 車イスの方、乳幼児を連れた方などだれもが使いやすいトイレ	1	2	3	4	5
道路・交通機関等	(4) 歩きやすいように、障害物(商品や看板、放置自転車、電柱等)が取り除かれた歩道や道路	1	2	3	4	5
	(5) 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1	2	3	4	5
	(6) 車イスやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	1	2	3	4	5
	(7) 障害者用の駐車場	1	2	3	4	5
情報案内など	(8) 大きな文字、絵、複数の言語を用いた誰もがわかりやすい案内標示	1	2	3	4	5
	(9) 手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設	1	2	3	4	5
	(10) 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1	2	3	4	5

バリアフリー

障害のある人が社会生活をしていくうえで妨げとなる障壁を除去するという意味で、建物や道路などの段差など、生活環境上の物理的障壁の除去のこと。

「心のバリアフリー」といった表現で、より広く社会参加を困難にしている社会的・制度的・心理的な全ての障壁の除去という意味でも用いる。

問17 あなたは、街や近所で、障害のある人や高齢者、妊婦、乳幼児を連れた方などに、次のようなお手伝いをしたことがありますか。(いくつでも)

1. 乗り物で席を譲った
2. 荷物を持った
3. 階段の上り下りや道路の横断、電車・バスの乗り降りに手を貸した
4. 車イスやベビーカーを押したり、持ち上げるのを手伝った
5. 道を教えた
6. 扉を開けた
7. 話しかけたり、声をかけたりした
8. 車で送り迎えをするなど、外出の手助けをした
9. その他〔具体的に： _____ 〕
10. 何もしたことがない
11. 困っているのを見かけたり、出会ったりしたことがない

付問1 問16で「10. 何もしたことがない」と答えた方におたずねします。
何もしたことがない理由は何ですか。(いくつでも)

1. 忙しく、急いでいたから
2. 手伝いをするに、気恥ずかしさを感じるから
3. おせっかいのような気がするから
4. どのように手助けしてよいか、わからないから
5. 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思うから
6. その他〔具体的に： _____ 〕

問18 人にやさしいまちづくりをすすめるためには、高齢者や障害者の方々が利用しやすい建物等の整備をすすめるだけでなく、市民一人ひとりの理解と協力、いわゆる「心のバリアフリー」を実現していくことが大切です。そのためにどのようなことが必要だと思いますか。(2つまで)

1. 広報紙、テレビ等を通じて、多くの人が多様な情報にふれる機会が増えること
2. 学校で障害者とともに学習すること等により、子どもたちから自然に接する環境で過ごすこと
3. 地域の行事等により、市民が障害者と直接交流する機会が増えること
4. 障害者等へのボランティア活動に多くの人に参加するようになること
5. 学校で、車イス体験をしたり、手話や介助方法等を覚える授業が活発に行われるようになること
6. 職場で、車イス体験をしたり、手話や介助方法等を覚える研修が活発に行われるようになること
7. その他〔具体的に： _____ 〕

福祉に対する考え方についておたずねします

問19 あなたは「福祉」について、どのようなイメージをお持ちですか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(1つに)

1. 所得が少ないなどの事情から生活することが困難な人を国、都、あるいは市が救済すること
2. 高齢者、障害者、児童などのために、国、都、あるいは市が必要な施設を整備して支援すること
3. 日常生活を過ごすのに、困っている人がいたら、みんなの善意で助けること
4. 市民の誰もが利用する可能性のある社会サービスのこと
5. わからない

問20 あなたは次にあげる言葉を聞いたことがありますか。(1)~(6)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつをつけてください。

	内容まで知っている	言葉だけ知っている	聞いたことがない
(1) ノーマライゼーション	1	2	3
(2) バリアフリー	1	2	3
(3) ユニバーサル・デザイン	1	2	3
(4) 成年後見制度	1	2	3
(5) 地域福祉権利擁護事業	1	2	3
(6) 福祉サービス第三者評価制度	1	2	3

ノーマライゼーション：障害のある人とない人が、地域社会の中でともに生きることが当然の姿であるという考え方

バリアフリー：9頁をご覧ください

ユニバーサル・デザイン：道路・住宅・製品などを設計製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、だれでもが使えるものを作るという考え方

成年後見制度：認知症、知的障害や精神障害のある人など、判断能力が十分ではない方が日常生活における不利益を受けないよう、本人の権利を守り支援する制度

地域福祉権利擁護事業：認知症、知的障害や精神障害のある人など、判断能力が十分ではない方へ福祉サービスの利用手続に関する相談・援助や日常的な金銭管理等を行う制度

福祉サービス第三者評価制度：事業者の提供する福祉サービスを当事者（事業者及び利用者）以外の公正・中立な評価機関が評価を行い、評価結果を公表する制度

府中市の地域福祉施策についておたずねします

問21 高齢者サービスに介護保険が導入されて7年になり、介護保険サービスの利用が普及してきました。今後の介護保険サービスと保険料について、あなたのお考えに一番近いものは次のうちどれですか。(1つに)

* 40歳以下の方もお答えください。

1. 保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい
2. 保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である
3. 介護保険サービスを抑えても保険料が低いほうがよい
4. どちらともいえない

問22 地域の福祉が充実するためには行政サービスだけでなく、住民の参加が必要だという考えがあります。あなたは住民参加の方法としてどのようなことが必要だと思いますか。(1つに)

1. 自治会や子ども会など地域単位の組織活動を活発にし、地域住民同士が横のつながりを保つこと
2. 行政と住民の意見交換の機会を設けること
3. より多くの住民がボランティア活動に参加すること
4. 講習会などによる地域づくりへの意識啓発などを進めること
5. その他〔具体的に： _____ 〕
6. わからない

40歳以上の方におたずねします

問23 あなたは、高齢期に向けて(定年退職等で仕事をやめたときなど)どのような地域活動支援を市に望みますか。(2つまで)

1. 子どもの安全や子育てに貢献できる活動への支援
2. 地域住民と協働できる機会の提供
3. ヘルパー等高齢者の援助を行う活動への支援
4. 都会を離れ地方へ移住する際のアドバイス
5. これまでの仕事上の経験をいかした新規事業の立ち上げへの支援
6. 生涯学習活動への支援
7. その他〔具体的に： _____ 〕
8. とくにない

問24 あなたは、「介護予防」（介護が必要な状態にならないようにする）について関心がありますか。（1つに ）

- | | |
|------------|-------------|
| 1．とても関心がある | 3．関心がない |
| 2．関心がある | 4．どちらともいえない |

問25 高齢化に伴い、認知症の人が増えると予想されています。あなたは、「認知症予防」（認知症の状態にならないようにする）について関心がありますか。（1つに ）

- | | |
|------------|-------------|
| 1．とても関心がある | 3．関心がない |
| 2．関心がある | 4．どちらともいえない |

問26 府中市では、健康管理のためにさまざまな事業を行っています。将来に向けて、どのような健康づくりの事業に参加してみたいと思いますか。（2つまで ）

- 1．交流、レクリエーション
- 2．骨折予防などの寝たきり予防生活機能の維持・向上
- 3．筋力トレーニングなど
- 4．家事能力の向上
- 5．認知症の予防、ケア
- 6．歯科・口腔ケア
- 7．栄養や食事の指導
- 8．その他〔具体的に： _____ 〕
- 9．とくにない

問27 府中市では介護予防を総合的に推進するため、「いきいきプラザ」（府中市立介護予防推進センター／府中市美好町）を昨年4月に開設しました。あなたは、「いきいきプラザ」（介護予防推進センター）を知っていますか。（1つに ）

- 1．よく知っている
- 2．名前はきいたことがある
- 3．聞いたことがない

問28 「利用者本位の福祉」を実現するために、府中市ではどのような施策に優先して取り組むべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをお答えください。(3つまで)

1. 福祉サービスに関する情報提供を充実する
2. 団塊世代など退職後の人々が地域活動で力を生かせる機会を増やす
3. ボランティアの育成や活動への支援を充実する
4. 的確な相談が受けられるようにする
5. 苦情に対して、適切な対応ができるようにする
6. サービスの内容を評価し、改善する仕組みを充実する
7. 行政やサービス事業者の情報公開を進める
8. 市民が、福祉に関わる法律や制度について、学習できる機会や場を提供する
9. 利用者の権利を保護する仕組みをつくる
10. その他〔具体的に： _____〕
11. わからない

問29 最後に、府中市の福祉やまちづくりへのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

R マーク